
第8回 草津市総合計画策定委員会

開催日時	令和2年7月31日(金) 9時40分から10時まで
開催場所	全員協議会室
出席者	市長、副市長、教育長、総合政策部長、総合政策部理事(公社担当)兼危機管理監、総合政策部理事(草津市未来研究所・経営戦略担当)、総務部長(兼法令遵守監)、まちづくり協働部長、環境経済部長、健康福祉部長、子ども未来部長、都市計画部長、技監、建設部長、上下水道部長、教育部長、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長
欠席者	なし
議事概要	下記のとおり

1. 案件

(1) 第1期基本計画、リーディング・プロジェクトについて 【資料1】

【事務局より資料に基づき説明】

- ・P2の「第1期基本計画について」、現在の第5次草津市総合計画第3期基本計画をベースに作成しているが、今回の基本計画では基本方針ごとに関連するSDGsのロゴを示すため、P3にSDGsについての説明を追加している。また、「協働」や「行財政マネジメント」も引き続きP2に「協働」、P3に「行財政マネジメント」の項目を追加し、アフターコロナの視点を盛り込んでいる。
- ・P4の進捗管理および評価について、これまでは各計画期間終了後に期末評価を実施していたが、特別委員会で「次期計画の策定前に実施すべきでは」との指摘があったため、各計画期間の3年目から4年目にかけて総括評価を行うよう変更している。
- ・P7以降のリーディング・プロジェクトについては、特別委員会や審議会でいただいた意見を踏まえ、将来ビジョンの実現に向け、4つのリーディング・プロジェクトを示し、それぞれの説明文の文末を「健幸を創造するまちをつくります」として将来ビジョンを意識した表現にしている。
- ・1つ目「未来を担う子ども育成プロジェクト」では、本市の強みを生かした教育・子育て支援の充実・ネウボラや地域協働学校といった地域への愛着を育む取組の視点を記載した。
- ・2つ目「地域の力結集プロジェクト」では、コミュニティの希薄化などの課題に対して、人と人のつながり、誰もが元気に活躍するなど、協働や健康の視点を盛り込み、地域共生社会をイメージした記載とした。
- ・3つ目「にぎわい・再生プロジェクト」では、まちなかのにぎわいや地域再生の推進、公共交通の充実や渋滞対策、地域再生計画などの視点を盛り込み、地域特性を生かした産業振興や公共交通ネットワークの形成について記載した。
- ・4つ目「暮らしの安全・安心向上プロジェクト」では、災害や感染症、また県内で犯罪率が高いといった本市の実情を踏まえ、ハード・ソフト両面での取組、自助・共助などの視点を記載した。

【質疑、意見など】

特になし

(2) 分野別の施策について 【資料1】

【事務局より資料に基づき説明】

- ・現在の第5次草津市総合計画第3期基本計画をベースに作成しているが、今回は、基本方針ごとに見開き2

ページで整理しており、各所管課、所管部において作成いただいたものを取りまとめた。
・市の取組とSDGsとの関連を示すため、基本方針に対応するSDGsのロゴを記載している。

【質疑、意見など】

特になし

(3) 地方創生について 【資料2】

【事務局より資料に基づき説明】

- ・まちの視点では、市民意識調査の「住みやすいまち」「住み続けたい」の項目において高い評価を得ていることを成果とし、人口動態の地域差や自然災害や感染症への対応・税収の減少による社会資本への維持等の対策などを課題としてまとめ、安全安心なまちづくりを通じて、持続可能なまちの実現を図るといった今後の方向性を挙げている。
- ・ひとの視点では、人口が増加している点を成果とし、出生数の減少や高齢化に伴う社会保障費の増加・地域コミュニティの希薄化などを課題としてまとめ、誰もが地域で生きがいを持って活躍できる社会の実現や子育てや教育環境の充実といった今後の方向性を挙げている。
- ・しごとの視点では、観光入込客数等を成果とし、生産年齢人口の減少に伴うまちの活力の低下や農業者の高齢化や担い手不足・企業用地の不足・新型コロナウイルス感染症等の経済への影響を課題としてまとめ、産業振興や担い手の確保・にぎわいのあるまちづくりの推進などといった今後の方向性を挙げている。
- ・P184「第2期 総合戦略について」では、本市の地方創生をどのように進めていくかなどを整理している。総合計画を市の最上位の計画として行政運営を進め、各種施策を相互に連携し展開することで人口減少局面により生じる課題に柔軟に対応し、持続可能なまちを目指すというように整理している。国においても、少子化対策・経済活性化等に加え、地域共生社会・多文化共生、女性活躍、観光振興や生物多様性の取組など幅広く示している。この点を踏まえ、本市の地方創生は総合計画の将来ビジョンの実現に向けた取組をまち・ひと・しごとの視点から進めることし、総合計画と総合戦略を一体的に策定し、さらに魅力的で持続可能なまちの実現を図るよう整理した。
- ・総合戦略の推進にあたっては、総合計画のリーディング・プロジェクトを総合戦略の戦略目標と位置づけ、本市の課題解決に向けて、戦略的に取り組むというように整理している。

【質疑、意見など】

- ・「今後の取組の方向性について」の中で、大学連携などの内容を盛り込んでいただきたい。
→大学との連携については、どこかに記載できないか検討する。
- ・「ひと」の視点からの評価の「課題について」のところで、「平均寿命の延伸などにより高齢化が進むことで」とあるが、「平均寿命の延伸」がマイナスに受け止められる印象も受けるので、表現を検討いただきたい。
→検討する。

2. その他

【今後のスケジュールについて】

8月8日 タウンミーティング

8月17日、8月20日、8月25日、8月28日 分割審議

以上